

## 第3章 計画の内容

### ① 計画の基本理念と基本目標

#### みんなでつくる支え合いの輪 住む人が輝くまち坂出 ～誰もが役割といきがいを持つ 地域共生社会をめざして～

少子高齢化や人口の減少はますます進行しています。また、コミュニティの弱体化は、周囲への関心の低下やSOSを発信しづらい環境につながっており、社会的孤立の要因にもなっています。コロナ禍や経済情勢の影響を受け、経済的に困窮する人も増えています。

支援を必要とする人は増加傾向ですが、支援を提供する側が同様に増加する訳ではありません。社会の現状を変えることは容易ではありませんが、自分自身でできること（自助）、地域の中でできること（互助）を広げるなど、身近な取り組みが重要となっています。

「第5次プラン」は計画期間の大半がコロナ禍であり、十分な取り組みを進めることが難しい状況でした。一方、コロナ禍を経験したことで、人と人とのつながりの大切さやこれまでの取り組みの必要性を、改めて確認する機会にもなりました。住民一人ひとりが地域の課題に関心を持ち、住民参加と様々な主体の参画により、誰もが安心して暮らせる明るい地域社会をめざすため、基本理念は前計画を踏襲し『みんなでつくる支え合いの輪 住む人が輝くまち坂出～誰もが役割といきがいを持つ 地域共生社会をめざして～』としました。

基本目標については①小地域福祉活動の充実 ②住民同士のつながりづくり ③担い手づくり・人づくり ④関係機関・団体等の連携・協働に関する、4つの構成としました。

**基本目標Ⅰ 暮らしを支える助け合いの輪**  
～小地域福祉活動の充実～

**基本目標Ⅱ みんながつながる地域づくり**  
～住民同士のつながりと交流の促進～

**基本目標Ⅲ お互いさまの人づくり**  
～人材と組織を育成する体制整備～

**基本目標Ⅳ 丸ごと参加のまちづくり**  
～連携・協働による福祉の推進～

## 2 計画の体系

		基本目標	実施計画
基本理念	I	暮らしを支える助け合いの輪 ～小地域福祉活動の充実～	見守り・訪問活動 1 (小地域ネットワーク活動) の拡充 ◆福祉推進委員活動の充実
			2 ふれあい型食事サービスの実施
			3 生活支援活動の推進 (仕組みづくり)
			4 小地域福祉座談会の開催
みんなでつくる支え合いの輪 住む人が輝くまち坂出 ↳誰もが役割といきがいをもち、地域共生社会をめざして↳	II	みんながつながる地域づくり ～住民同士のつながりと交流の促進～	1 仲間づくり活動・居場所づくり活動 (サロン活動) の拡充
			2 世代間交流・多文化交流の実施
			3 子育てを応援する地域づくり
			4 防災を通じたつながりづくり
	III	お互いさまの人づくり ～人材と組織を育成する体制整備～	1 地域団体等への 加入促進に向けた取り組み
			2 新しい世代が参画しやすい環境づくり
			3 活動へのきっかけづくり ◆ボランティアの組織化
			4 地域福祉の啓発
	IV	丸ごと参加のまちづくり ～連携・協働による福祉の推進～	1 関係機関・団体の連携強化
			2 社会資源としての福祉施設との連携
			3 多様な主体 (企業等) との連携
			4 活動を通じた地域活動のPR ・情報発信
			5 関係者のスキルアップ